

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	社会福祉法人あざみ会しいのみ保育園
所在地	品川区南品川2-15-14

1 活動のテーマ

感触

＜テーマの設定理由＞

日本の伝承行事である夏の風物詩の祭り。夏祭りでは、保育室をこどもの製作で飾り、保護者に園での様子や成長を感じて頂く目的で行う。園の保育方針の一つである五感を育む保育を実現の為、感触をテーマに絵の具やシール貼りなどの製作を通して、表現力を養っていく。絵の具一つをとっても、ビー玉転がし、フィンガーペインティング、手形など様々な方面からの感触遊びを通してこどもたちの興味、発見を引き出していく。また、2歳児は盆踊りを行い、視覚、聴覚を感じながら、表現の楽しさを知る。保護者参加型の行事という事で、一緒にゲームに参加したり、風鈴を作ったり、触れ合いも目的としている。

2 活動スケジュール

4月・5月→計画・製作立案・戸外の砂や土に触れる
5月→壁面の案持ち寄り
6月→製作開始・進捗確認
7月・8月→水に触れる
8月→製作してきた作品を夏祭りを通して展示

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

【製作】・カニの手形・金魚鉢・フルーツ・サルの製作・吊るし飾り・パイナップル・ヨーヨー・やぐら
【準備した素材など】・絵具・画用紙・すずらんテープ・のり・ボンド・セロテープ・折り紙・ストロー・リボン・水性ペン・両面テープ・マスキングテープ・半紙・段ボール・ビーズ・紙コップ・輪ゴム・緩衝材・紙皿・紙コップ・ペットボトル・プラカップ・タコ糸・シール・ビニール袋・紙パック・花紙・模造紙 など
・製作によって使用する素材を替え、様々な感触を楽しむことができるようにした。

4 探究活動の実践

＜活動の内容＞

・氷クレヨンでは、氷の冷たさに「冷たいね」「小さくなっていくね」「なくなったね」等々氷の変化に気づきがあった。氷がなくなっても手についた絵の具で自ら絵を描き、製作の広がりがあった。
・同じ紙でも、新聞紙、折り紙、花紙、半紙、模造紙など材質の違いにも気づきがあり「柔らかいね」「硬いね」、また紙をくしゃくしゃと触った時の「音が違うね」という気づきもあった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

同じ素材を使うと過去に使用した素材を子どもたちが覚えており、「これ知ってる」「前にもやったよね」等々、興味が広がったようにも感じた。時間をあけて繰り返し同じ素材を使い、違った楽しみ方を生み出す、子どもたちの無限の可能性も感じた。また製作中、子どもたち同士で気づきを言葉にしたり会話を楽む姿もあり、触れて感じたこと・疑問を言語化しようとし、語彙の獲得にもつながった。